

型にはまらない  
ワクワクするアイデアが  
地域を盛り上げる



加入に関するお問い合わせ 町田市町内会・自治会連合会 042-722-4262

he said,

## “一石何鳥”が好きなんです 7月の水かけ祭りは 正直、僕が一番ワクワクしています



地域の課題を解決するために、できることはまだまだたくさんあると語る一戸会長

タイの旧正月を祝う「ソソクライン」に行われる水かけ祭り。街中で大勢の人々が水をかけ合うその祭りは世界的にも有名で、これを目あてに多くの旅行者がタイを訪れるという。そんなお祭りを、「まちだ〇ごと大作戦」で行おうとしている町内会・自治会がある。木曾南自治会だ。あいにく、昨年は雨天のために中止となったが、今年の7月28日に開催することが決まっている。

木曾南自治会の一戸氏は会長になって今年で6年目を迎える。自治会の高齢化や子ども参加が少ないこと、そして地元消防団のなり手がいないことなど、様々な課題をこの6年で目の当たりにした。

「もともと、防災訓練をもっと面白くできないかと思ったことが水かけ祭りの発端です。それまでは、防災訓練に参加する人はごくわずかでした。でも、皆で水をかけ合って、さらに消防車もやってきて放水したら、すごくおもしろいんじゃないか。しかも道路を完全封鎖してそれをやったら、子どもだけじゃなくて大人だってワクワクしますよね。実際、昨年はたくさん問い合わせ

せを頂きました。開催前日には、近隣のお店から水鉄砲が全てなくなるという事態になったんです。大人も子どもも楽しめて、住民の親睦も図れる。さらに消防団のPRから団員獲得にもつながると考えた一戸会長の思惑は見事に当たったが、天気だけは味方してくれなかったのだ。

木曾南自治会は54年前に設立され、加入世帯数は184。しかし、盆踊りや神輿など交流を図るイベントはほとんどなかった。もっと地域で皆が参加できてワクワクできるものがあったら。——そんな思いをずっと抱いていたのが一戸会長だった。「何事も、どうせやるならドキドキワクワクした方が面白いじゃないですか。町内会や自治会って少し堅苦しいイメージがありますが、やり方を変えたら面白くなる可能性はたくさんあると思っただけです」

一戸会長が始めた取り組みは他にもある。子どもたちの夢を応援するプロジェクト、通称「夢プロ」もその一つだ。これも〇ごと大作戦でダンスの姉妹ユニットや、東京都4年連続金賞受賞の木曾中学吹奏楽部をはじめ9組の子どもたちが

が歌やダンスなどを披露した。「子どもたちの夢を本気で応援したいから、パフォーマンスできるステージを与えてあげよう」ということ。いつかは町田から世界へ羽ばたいてほしい。その時は、木曾の企業がスポンサーになってあげたら、とそんなことも考えています。

町田をベースに仕事で海外を飛び回る一戸会長のグローバルな感性が落とし込まれた仕掛けだが、その実現には多くの人の協力があるという。

「僕が会長になってから突拍子もないことばかり提案しているのですが、『え？それをやるんですか？でも楽しそう！』とお手伝いを引き受けてくれる人たちが増えてきたんです。そういう人たちがたくさんアイデアを次から次へと出してくれて、そのおかげででき上がった企画なんです」

地域で応援する子どもたちの夢。そして住民が楽しく、生き生きと暮らせるまちにしたい。新しいアイデアが自然と湧き出すのは、地域を本気で盛り上げようとしているからだ。木曾南自治会にはまだ見ぬ新しい仕掛け、そしてドキドキとワクワクがたくさん溢れていた。



水かけ祭りは自治会だけでなく、消防団や青少年健全育成地区委員会の協力で見ることが可能となった(写真左)。「夢プロ」には9組約100名が出演、300名を超える来場者で賑わった。